



世界に希望を生み出そう

## 国際ロータリー第 2620 地区 甲府北 ロータリークラブ

2023-2024 年度 2627 回例会 11 月 22 日

地区ガバナー 中村 皇積 クラブ会長 志村 浩男

### 本日のプログラム

#### ●ロータリー財団月間

#### ●会長の時間 志村 浩男 会長

ロータリーの友 11 月号 p 54 (19 p) 桑原薫さんの『フェアを重んじる「service の哲学」』の記事を紹介したいと思います。

以下引用です

元々、英語の service と日本語の「奉仕」は同じ「仕えること」という意味でした。しかし、時代の変遷とともに意味が変容していきました。Service は、産業革命を通して「人の役に立つ働き」「果たすべき務め」という意味を持つようになり、「業務」「勤務」「任務」「役務」「仕事」「事業」「雇用」「効用」「提供」「貢献」「部門」などと訳せるようになりました。訳語からもわかるように service に「自己犠牲」という概念はありません。英語の Service に「値引」「おまけ」「無料」という意味がないのはこのためです。一方日本では戦国時代の終焉によって新たな領地の獲得や分配ができなくなった徳川幕府は、有償の奉公を無償にするため、奉仕に「見返りを求めない」という意味と「尽くす」という意味を追加したのです。米山梅吉翁は、service の訳語を一つで済ませることはできないと考え、service を「サービス」と訳しました。ところが 1934 年、ロータリーの外国語禁止提案により「サービス」が奉仕に書き換えられてしまったのです。しかも、すでに発行された書籍までもが改定されたのです。その結果自分と他者の共存共栄を目指す「service の哲学」が、自己犠牲を求める「奉仕の哲学」として語られるようになってしまったわけです。しかし「service の哲学」は「奉仕の哲学」ではありません。「奉仕の心」を「自分の利益より、他者の利益を優先する心」ととらえれば、自分と他者との関係がフェアであるとはいえません。これに対し、service の心は、「自分の利益と同じように、他者の利益を大切に作る心」です。以上引用終わり。

11 月 1 日の会長挨拶で次のように述べました。

「ロータリーに入会させていただいて非常に違和感を感じたのは奉仕という言葉でした。労働は罰であると考えたキリスト文明の人々に特有な考え方で我々日本人の「働く」がはたを楽にするという労働観とは違う西洋の人々特有の言葉ではないかと思ったのです。」しかし桑原さんの見解ではともに「人の役に立つ働き」でありキリスト文明の労働観も我々と同じであるといえます。ロータリーの目的の奉仕を Service に置き換えるとすべてが腑に落ちます。

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として Service の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

第 1 知り合いを広めることによって Service の機会とすること；

第 2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に Service する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする；

第 3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業及び社会生活において、日々、Service の理念を実践すること；

第 4 Service の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を

推進すること。

皆さん如何でしょうか？

フェアで社会に役立つ日々の仕事の先に人類社会に貢献できる希望が見えませんか？

世界中のロータリーの仲間と手を取り合って希望へ向かって共に進みませんか？

自分一人では寂しいのです。

11月1日に紹介した中村さんの言葉です、「ロータリーは一步前にでると楽しい、一步下がるとつまらない」。

皆さん一步前に出ましょう！

## ●2626 回例会（11/15）

### ●ロータリー財団の時間（グローバル補助金）地区財団委員会 望月啓行様卓話



#### グローバル補助金の要件

グローバル補助金プロジェクトにはロータリークラブ会員が積極的に関わる必要があります。また、プロジェクトは**グローバル補助金の授与と受諾の条件**を満たす必要があります。

##### プロジェクトの要件

- 長期的で持続可能な影響をもたらす
- ロータリー重点分野の少なくとも一つに一致する活動を含む
- 予算が30,000ドル以上である
- 地元地域の人びとが特定した重要なニーズに取り組む
- 地域社会がニーズに自力で取り組む力を向上させる



##### 実行項目・留意事項

- 毎年、クラブまたは地区がグローバル補助金を申請するための資格認定を行う
  - 現地の人びとにプロジェクトに積極的に参加してもらう
  - 海外のクラブと協力する
  - クラブまたは1地区がグローバル補助金の代表提唱者となるのは、1度に10件までに限られる
  - プロジェクトの計画を立てる（予算と財務管理計画を含む）
  - 補助金センターを通じて補助金を申請する
  - 期日までに報告書を提出する
- 人道的プロジェクト、および職業研修チームを含むプロジェクトの場合：
- 申請前に地域社会の調査を実施し、その結果を申請書に添える必要がある
  - 成果に向けた進捗を測定する

## ●幹事報告

- 2024-25 年度地区奉仕活動委員会委員を募集しています。条件はありますが地区リーダーシップの一員として献身及び活躍する意欲のある方なら在籍年数は問われません。我こそはと思う方はぜひ会長迄お申し出ください。
- 今年度もロータリー財団寄付と米山記念奨学会特別寄付をお預かりします。財団寄付 150 ドル、ポリオ基金寄付 30 ドル、米山特別寄付 12,000 円です。御協力よろしく願いいたします。
- 12月の例会は、12月6日（昼）、12月13日（昼）、12月20日（夜）の3回でZOOM例会はありません。詳細については後日お知らせします。皆様ご予約いただけますよう、よろしく願いいたします。

## ●他クラブの例会変更

- 甲府東 RC 12月15日（金）特別休会  
12月22日（金）→ 年忘れ家族例会のため夜間例会に変更  
点鐘：18時30分 場所：ネオス・ミラベル